



ASAHI
ADVERTISING
AWARD

朝日広告賞
参加のおすすめ

多様化するメディアと連携しながら 新聞広告表現の可能性に挑戦し続けます

1952（昭和27）年に創設された朝日広告賞は、日本の社会が大きく変動し続けた過去72年の世相を映し出しながら、各時代のすぐれた新聞広告を顕彰し、広告文化の発展に寄与してきました。

紙面に掲載された広告を対象とする〈広告主参加〉の作品と、若きクリエイターや学生が腕を競う〈一般公募〉の応募作品は、各界を代表する審査委員たちの厳しくも愛情あふれる目で選び抜かれ、時に新たな価値観を提示し、時に普遍的な美を私たちに想起させてくれます。

今年度は新たに〈デジタル連携の部〉を設立して第3回目を迎えます。新聞広告を基点に動画やAR、SNSとのつながりなど従来の新聞広告だけではない取り組みを含めて顕彰してまいります。

朝日広告賞は、築かれた伝統の重さを大切にしながらも、広告表現の新たな可能性を切り開くべく、これからも、絶えず挑戦し続けます。

広告主の皆様におかれましては、顕彰の趣旨をご賢察のうえ、本年度もぜひご参加を賜りますよう心からお願い申し上げます。

朝日新聞社

朝日広告賞〈広告主参加〉は「新聞広告の部」と「デジタル連携の部」

第73回 朝日広告賞〈広告主参加〉は、「新聞広告の部」では、2024年4月から2025年3月末まで、朝日新聞に掲載された広告の中から広告主によりエントリーされた紙面が審査対象です。

「デジタル連携の部」では、新聞広告に加え、インターネットをはじめとしたデジタルメディアとの連携も審査対象となります。

各賞は広告主に贈呈いたします。

エントリーの際には、〈一般公募〉への課題提供も併せてご検討ください。若い才能の発掘・育成のためにも、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。



〈広告主参加〉の各部で朝日広告賞、準朝日広告賞入賞社へ贈られる賞杯。

「誇示する人」

(朝日広告賞の賞杯は金、準朝日広告賞の賞杯は銀)

「強い意志こそがパワフルな真の広告を生む。」との考えから、力を誇示する多くの人々が現れることを願って、グラフィックデザイナー松永真氏がデザインした賞杯。

賞の構成

新聞広告の部

- 朝日広告賞 1点 / 賞杯、賞状、副賞100万円
- 準朝日広告賞 3点 / 各賞杯、賞状、副賞30万円
- 部門賞(1部門につき各2点) 12点 / 各賞状、副賞10万円
※部門については10ページをご覧ください。
- 小型広告賞 1点 / 賞状、副賞10万円
- 朝日新聞特別賞 3点 / 各賞状、副賞20万円
- 朝日新聞読者賞 1点 / 賞状

デジタル連携の部

- 朝日広告賞 1点 / 賞杯、賞状、副賞100万円
- 準朝日広告賞 1点 / 賞杯、賞状、副賞30万円
- 優秀賞 2点 / 各賞状、副賞10万円
- 朝日新聞読者賞 1点 / 賞状

※朝日新聞特別賞は、朝日新聞社が推薦し、審査委員によって選ばれます。

※朝日新聞読者賞は、朝日広告賞サイト上で一般読者などに投票いただき、最多得票の広告に贈呈されます

〈広告主参加〉エントリーのお願い

デジタル連携のある広告は、「新聞広告の部」「デジタル連携の部」の両方にエントリーが可能です。

「新聞広告の部」について

■ 審査対象

2024年4月1日(月)から2025年3月31日(月)までの期間に朝日新聞に掲載された広告のうち、広告主からエントリーしていただいたもの。

■ 審査基準

「優れた広告活動」を基準に、紙面としての完成度・独創性に加え、マーケティング面でのアイデアや効果も評価のポイントとなります。

■ 対象紙面

朝日新聞のノンブルが入ったすべての紙面(本紙・be・別刷り特集・エリア広告特集)

※エリア広告特集は、原則として単独で10万部以上発行の紙面が対象です。

※小型広告賞は、題字下、天声人語 左(朝刊)、ユニット広告(記事中、突き出し)、変形広告(右上表札、左下表札、左下W表札、右縦W)などを中心にしたシリーズあるいは単独広告。

■エントリー方法

エントリーは朝日広告賞サイトから

2024年10月8日(火)からエントリーの受付をスタート。

朝日広告賞サイトから、専用のエントリーフォームに必要事項を入力してください。

エントリーと合わせ、下記の提出をお願いします(エントリーは無料です)。

○朝日新聞本紙掲載の場合(地方版面を除く)

→ **掲載紙面PDF(ノンブル付)を朝日広告賞事務局宛にメール送付**

朝日広告賞事務局メール：all@asahi-aaa.info

○朝日新聞本紙地方版掲載／エリア広告特集／広告号外の場合

→ **掲載紙面の現物(2部)を朝日広告賞事務局宛に郵送もしくは持参**

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞社 メディア事業本部 クリエイティブ2部

朝日広告賞事務局

年間の**最終締め切りは2025年4月4日(金)**となりますので、エントリー漏れがないようにご注意ください。

シリーズ広告のエントリーはシリーズ終了後に

原則として、シリーズ最終回掲載後にエントリーをお願いします。

年度をまたいだシリーズの場合、必要であれば、参考として前年度もしくは次年度の掲載情報もエントリーください。

※エントリー済みの広告に、単独広告やシリーズ広告を追加してエントリーを変更することも可能です。詳しくは弊社担当者にお問い合わせください。

■エントリーは朝日広告賞サイトから www.asahi-aaa.com

「デジタル連携の部」について

■審査対象

2024年4月1日(月)から2025年3月31日(月)までの期間に朝日新聞に掲載された広告のうち、広告主からエントリーしていただいたもので、デジタルとの連携があるもの。

※審査基準・対象紙面は「新聞広告の部」と同様です。

■エントリー方法

「新聞広告の部」と同様に掲載紙のエントリーと合わせ、下記のいずれかを提出してください。

- ① 掲載紙面と連携しているサイトのURL、または、掲載紙面と連携していた内容の分かる動画閲覧サイトのURL (2025年7月末までアクセス可能であること／提供可能なURLは3つまで)
- ② ①が不可の場合、掲載紙面と連携していた内容を説明するコンセプトシート (A3横1枚のPDF・5MBまで・記入する説明文の最小フォントサイズは12ポイント以上)

※入賞されたコンセプトシートは作品集・公式ホームページなどでそのまま発表します。

■エントリーは朝日広告賞サイトから www.asahi-aaa.com

「朝日新聞読者賞」の参加について

朝日新聞読者賞は、審査会で入賞内定した作品を一定期間「朝日広告賞サイト」にアップし、一般読者などに投票いただき、最も多く票を集めた広告に贈られます。

※デジタル連携の部の入賞内定作品は、コンセプトシート、あるいは、アクセス可能であれば掲載紙面と連携しているサイトや動画閲覧サイトのURLも、朝日広告賞サイト上に投票の期間掲出されますので、あらかじめご了承ください。

〈広告主参加〉作品の取り扱いについて

- 入賞作品は、朝日新聞社が制作、発行または運営する媒体(『朝日新聞』『朝日広告賞入賞作品集』、朝日広告賞の案内パンフレットその他の発行物や、『朝日広告賞サイト』、メディア事業本部ウェブサイト等のインターネットサービスを含みます)で掲載、入賞作品展等で展示をすることがあります。また、朝日広告賞の紹介、宣伝のために、他社の媒体で掲載、利用されることがあります。
- 入賞作品の掲載面を含む朝日新聞紙面は、朝日新聞社による縮刷版及び電子縮刷版などの電子メディア・サービスに使用することがあります。

〈一般公募〉課題提供に関して

■〈一般公募〉課題提供のお願い

〈広告主参加〉にエントリーする際、〈一般公募〉に課題のご提供もお願いしております。
課題ご提供のメリットとして、貴社課題の応募作品は非入賞分も含め、全てご覧になれます。
また、〈広告主参加〉のエントリーがなくても〈一般公募〉の課題提供は可能です。
コンテストの趣旨をご賢察のうえ、ご協力をお願いします。

■課題について

1社1課題のご提供をお願いします

各社からご提供いただいた課題は、朝日新聞紙面と朝日広告賞サイトで順次発表します（10月に先行課題、11月と2025年1月に全課題一覧を掲載予定）。応募者が挑戦したくなるような魅力的な課題をお待ちしています。

※複数広告主による広告キャンペーンやタイアップ・連合広告の場合は別途ご相談ください。

※課題の内容が、賞の趣旨に照らして妥当でないと判断される場合、主催者側から内容の変更をお願いすることがあります。

※ご提供いただいた課題や課題の解説に変更などが必要な場合は、弊社担当者、または事務局までご相談ください。

■ご提供方法

下記の朝日広告賞サイトから、専用の課題提供フォームに必要事項を入力してください。
記入された内容が、紙面やサイトで課題を発表する際のもとの原稿となります。

■課題提供は朝日広告賞サイトから **www.asahi-aaa.com**

■ 資料のご提供について

応募者が制作しやすいように、ロゴマークや商品写真など、素材データをできるだけご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただく素材・資料などはひとつのフォルダにまとめて圧縮ファイルにしてアップロードしてください。

＜ご提供いただきたい素材・資料＞

●ロゴ……アウトライン化したAIデータもしくはPDFデータ

●写真……JPEGなど汎用性のある画像データ

●その他、必要に応じてイラストや図版、テキストなどのデータ

※ただし、フォームよりアップロードできるデータの総容量は10MB以内です。総容量が10MBを超える場合は、弊社担当者または事務局までご相談ください。

※ご提供いただいたデータは、朝日広告賞サイトにアップします。データは、朝日広告賞応募に使用する目的に限り、応募者が自由にダウンロードできることとします。

■資料提供は朝日広告賞サイトから **www.asahi-aaa.com**

「一般公募」作品の取り扱いについて

- 応募されたパネル作品の所有権は朝日新聞社に帰属します。作品は、制作者（応募者）に返却されません。
- 入賞作品の著作権（著作権法21条から26条までに定める権利）は朝日新聞社に帰属します。入賞作品は、朝日新聞社が制作、発行または運営する媒体（『朝日新聞』『朝日広告賞入賞作品集』、朝日広告賞の案内パンフレットその他の発行物や、『朝日広告賞サイト』、メディア事業本部ウェブサイト等のインターネットサービスを含みます）で掲載、入賞作品展等で展示をすることがあります。また、朝日広告賞の紹介、宣伝のために、他社の媒体で掲載、利用されることがあります。
- 入賞候補作は、『朝日広告賞サイト』で入賞発表前に掲載します。その際、課題広告主名、作品名と作品画像を掲載しますが、制作者の名前は入りません。
- 入賞作品の掲載面を含む朝日新聞紙面は、朝日新聞社による縮刷版及び電子縮刷版などの電子メディア・サービスにも使用されることがあります。
- 応募作品（デジタルデータを含む）はその作品の課題を提供した参加広告主に開示され、参加広告主が展示等を行うことができます。
- 入賞作品について、応募者ご自身が個展への出品やウェブサイト・刊行物その他媒体への掲載等をする場合は、朝日新聞社から事前に承諾を得ていただく必要があります。

「広告主参加の部」第1回からのグランプリ作品一覧



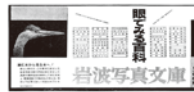
1952年度 第1回
銚子醤油



1953年度 第2回
高島屋(大)



1954年度 第3回
高島屋(東)



1955年度 第4回
岩波書店



1956年度 第5回
日本ビクター



1957年度 第6回
味の素



1958年度 第7回
丸見屋



1959年度 第8回
日本ビクター



1960年度 第9回
松下電器産業



1961年度 第10回
服部時計店



1962年度 第11回
平凡社



1963年度 第12回
松下電器産業



1964年度 第13回
東京芝浦電気



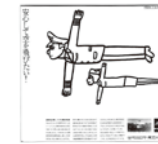
1965年度 第14回
資生堂



1966年度 第15回
朝日麦酒



1967年度 第16回
帝人



1968年度 第17回
東京芝浦電気・東芝商事



1969年度 第18回
高島屋(大)



1970年度 第19回
松下電器産業



1971年度 第20回
東急不動産



1972年度 第21回
資生堂



1973年度 第22回
サントリー



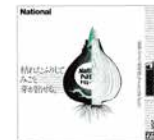
1974年度 第23回
サントリー



1975年度 第24回
サントリー



1976年度 第25回
日本電建



1977年度 第26回
松下電器産業



1978年度 第27回
日本石油



1979年度 第28回
資生堂



1980年度 第29回
サントリー



1981年度 第30回
サントリー



1982年度 第31回
資生堂



1983年度 第32回
資生堂



1984年度 第33回
資生堂



1985年度 第34回
資生堂



1986年度 第35回
ミノルタカメラ



1987年度 第36回
サントリー



1988年度 第37回
大沢商会



1989年度 第38回
松下電器産業



1990年度 第39回
松下電器産業

「広告主参加の部」第1回からのグランプリ作品一覧



1991年度 第40回
松下電器産業



1992年度 第41回
モスフードサービス



1993年度 第42回
メルセデス・ベンツ日本



1994年度 第43回
メルセデス・ベンツ日本



1995年度 第44回
コマツ



1996年度 第45回
ボルボ・カーズ・ジャパン



1997年度 第46回
サントリー



1998年度 第47回
モスフードサービス



1999年度 第48回
アップルコンピュータ



2000年度 第49回
ビクターエンタテインメント



2001年度 第50回
サントリー



2002年度 第51回
宝島社



2003年度 第52回
松下電器産業



2004年度 第53回
ツーカーセラー東京



2005年度 第54回
エヌ・ティ・ティ・レゾナント



2006年度 第55回
宝島社



2007年度 第56回
旭化成



2008年度 第57回
日本精工



2009年度 第58回
振り込め詐欺抑止プロジェクト
実行委員会



2010年度 第59回
東芝



2011年度 第60回
エルメスジャパン



2012年度 第61回
東京エレクトロン



2013年度 第62回
JVCケンウッド・ビクター
エンタテインメント



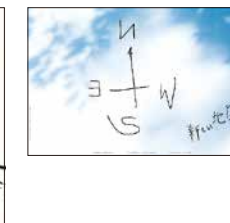
2014年度 第63回
Apple



2015年度 第64回
宝島社



2016年度 第65回
東京ガス



2017年度 第66回
CULLEN



2018年度 第67回
ストライプインターナショナル



2019年度 第68回
パイロット



2020年度 第69回
西武園ゆうえんち



2021年度 第70回
サントリーホールディングス



2022年度 第71回
新聞広告の部
ルイ・ヴィトン ジャパン



2022年度 第71回
デジタル連携の部
テレビ朝日



2023年度 第72回
新聞広告の部
ユニクロ



2023年度 第72回
デジタル連携の部
味の素

※広告主名は受賞時の表記 ※シリーズ作品は1点のみ掲出

〈広告主参加〉部門一覧

■ A 部門

書籍、月刊誌、週刊誌、デジタル出版物

■ B 部門

百貨店、専門店、量販店、総合通販、パソコンショップ、映画、興行、地上波、衛星波、音楽ソフト、ゲームソフト

■ C 部門

薬品、医療機器、衛生用品、化粧品、トイレタリー、化粧品通販、美容サロン、食品、飲料、酒、たばこ、食品通販、外食産業

■ D 部門

ファッション、時計、楽器、家庭用品、スポーツ用品

■ E 部門

電機、通信、IT サービス、ビジネスソフト、自動車、車両販売、ガス、電力、石油、素材、建設機械、住宅設備機器、不動産、住宅、建設、老人ホーム、銀行、証券、保険、その他金融、商社

■ F 部門

鉄道、旅行、航空、物流、ホテル、式場、観光、レジャー、大学、各種学校、通信教育、官公庁、団体、自治体、外国政府、人材サービス

※エントリー後、事務局で部門を調整させていただく場合があります。ご不明な点は弊社担当者にご相談ください。

朝日広告賞全体の流れ

年間スケジュール

〈広告主参加〉エントリー・スケジュール

エントリー対象期間：2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月）

シリーズ展開が予定されている作品は、原則として全シリーズの掲載終了後にエントリーしてください。

**エントリー受付開始：
2024年10月8日（火）**

**エントリー最終締め切り：
2025年4月4日（金）**

2024年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2025年 1月 2月 3月 4月

課題と課題資料の提供・発表

貴社の商品、サービス等をテーマに広告課題をご提供ください。課題の発表は先行課題一覧として10月中旬、全課題一覧として11月、1月の紙面、及び朝日広告賞サイトでを行います。新たな才能による斬新な提案をご期待ください。

○ **先行課題募集締切** ※以後も、随時課題は受け付けます

● **先行課題一覧発表**

● **全課題一覧発表（第1回）**

○ **課題募集最終締切**

※紙面での課題掲載は1回だけとなります

● **全課題一覧発表（第2回）**

2025年4月

本審査会

2025年4月に本審査会を実施します。〈広告主参加〉〈一般公募〉それぞれ審査委員が厳正に審査を行い、朝日広告賞ほか、各賞を決定します。



前回の審査風景

2025年5月

朝日新聞読者賞 WEB投票

入賞内定作品などを朝日広告賞サイトに掲載し、読者投票を行います。

2025年7月

入賞作品紙面発表 贈呈式

入賞作品は7月上旬（予定）に朝日新聞紙面や朝日広告賞サイトで発表されるほか、入賞作品集で紹介いたします。

また入賞社には浜離宮朝日ホール（東京都中央区築地）で行われる贈呈式にて賞杯・賞状・副賞（賞金）が贈られます。

※賞杯は朝日広告賞、準朝日広告賞のみ
※朝日新聞読者賞は賞状のみ



前回の贈呈式から

〈一般公募〉課題募集と発表について

エントリーフォーム

〈広告主参加〉にエントリーする

下記の朝日広告賞サイトにアクセスし、以下の専用エントリーフォームに必要事項を入力してください。

【ご注意点】

●シリーズ広告について

複数の広告を一連のものとしてエントリーされる場合、必ず「シリーズ」をお選びください。

●問い合わせにお答えいただける方の記入を

事務局からお問い合わせする場合がありますので、エントリーの内容等についてお答えできる方のご記入をお願いします。入力されたE-mailアドレスに、エントリー受付確認用のメールが自動送信されます。

●「朝日新聞読者賞」への参加について

「朝日新聞読者賞」に参加・不参加の選択項目があります。ウェブサイト上に掲載が可能であればぜひご参加ください。

■ エントリーは朝日広告賞サイトから www.asahi-aaa.com

課題提供フォーム

〈一般公募〉に課題提供する

下記の朝日広告賞サイトにアクセスし、以下の専用課題提供フォームに必要事項を入力してください。

※〈広告主参加〉にエントリーいただく場合はできるだけ課題提供をお願いしております。課題提供のみのご協力も受け付けています。

[ご注意点]

●課題情報

朝日広告賞〈一般公募〉に提供する課題の詳細をご記入ください。課題は30字以内、課題の解説は55字以内でお願いします。

※文字数が収まらない場合は、事務局までご相談ください。

●提供素材

素材のご提供はアップロードをお願いしています。詳しくは6・7ページをご参照ください。

●ご連絡先

担当広告会社、もしくは広告主のご担当者情報をご記入ください。ご提供いただく課題について確認のご連絡などをする場合がありますので、課題の内容等にお答えできる方のご入力をお願いします。

■ エントリーは朝日広告賞サイトから www.asahi-aaa.com

朝日広告賞審査委員(予定)



アートディレクター
浅葉 克己
■ ■



慶應義塾大学教授
石戸 奈々子
■



クリエイティブディレクター
尾形 真理子
■



アートディレクター
葛西 薫
■ ■



アートディレクター
川口 清勝
■ ■ ■



コピーライター
国井 美果
■ ■



コピーライター
児島 令子
■



アートディレクター
小杉 幸一
■ ■



グラフィックデザイナー
佐藤 卓
■



デザイナー
篠原 ともえ
■



アートディレクター
副田 高行
■ ■



写真家
瀧本 幹也
■



事業構想大学院大学学長
田中 里沙
■



クリエイティブディレクター
辻 愛沙子
■ ■



CMディレクター
中島 信也
■



クリエイティブディレクター
箭内 道彦
■ ■



クリエイティブテクニカルディレクター
米澤 香子
■

朝日新聞東京本社
文化部長
渡部 薫
■

朝日新聞社 執行役員
メディア事業担当兼メディア事業本部長
戸辺 久之
■ ■ ■

■ 〈一般公募〉新聞広告の部 担当 ■ 〈広告主参加〉新聞広告の部 担当 ■ 〈一般公募〉〈広告主参加〉デジタル連携の部 担当

2024.9 (順不同、敬称略)